

# SPLASH

2025.8.1  
Vol.86

発行元：三信倉庫株式会社 発行責任者：大竹英明 編集責任者：木村嘉宏

## 私が歩く理由

Splashを読んでいる方は、ご存じの方も多いと思いますが、私はよく歩きます。理由について、自分でも特に分析したことはなかったのですが、「その通り！」と腑に落ちる本を見つけました。

『歩く マジで人生が変わる習慣』（池田光史 ニュースピックス 2025）です。

この本を読んで、かなり独善的ですが、自分なりに解釈してみました。以下、この本の一部の要約です。

まず、歩けることとは、そこが安全な町ということです。海外の治安の悪い町では、必ず車に乗って、決して出歩かないこと、とされます。

また、歩きやすい町というのは、交通機関が発達している町とも言えます。職場、スーパー、役所など日常的に使う施設が徒歩圏内、もしくは公共交通機関で行ける範囲にあれば、歩く方が利便性が高くなるから歩きやすくなります。アメリカの保険会社が発表している、治安や公共交通機関の利便性などで評価した「世界で最も歩きやすい都市ランキング」では、歩きやすい都市の上位ほど、住んでいる人の平均歩数が多いそうです。

さらに、事例として自動車社会として有名なアメリカが挙げられています。そんなアメリカの主要都市圏には、徒歩で移動できる土地面積そのものが1.2%しかないそうです。しかし、その歩ける土地を持っている都市が生み出すGDPは、アメリカ全体の20%に達するそうです。つまり、歩きやすい都市は、生産力も高いということです。ちなみに東京は、上記のランキングで6位だそうです。つまり、治安の面、交通機関の面などで、歩くのにふさわしい都市ということです。

そもそも、自動車以前の道路は、当たり前ですが歩行者が中心でした。のちに自動車が普及し、事故が増えた結果、強い自動車が中心の都市づくりになっていきました。なぜ人は信号無視をするのか、横断歩道でないところを渡るのか、それは自動車が主、歩行者が従という思想の下、街づくりが自動車に最適化されすぎたからです。

かのイーロン・マスクも自動運転が実用化し、普及すると、必要な時に遠くの駐車場から呼び出せばいいため、「駐車場 (Parking lots)」を「公園 (Parks)」にすることができる、つまり、「Parking lots」から「-ing lot」を取り除くのです、ということを行っているそうです。この方は突拍子のないことを言ったり、かなり偏ったことを言ったりしますが、これは多くの人が賛成できることなのではないかと思います。

ここまでが、この本の内容ですが、なかなか的を射たことを言っていると思います。というよりも、我が意を得たりと思っています。ほかにも町の変化に気づきやすい、季節を感じやすい、もっと打算的に交通費が浮く、時間潰しになるなどもあります。この主張も、歩くことの利点として、加えたいと思います。

# 日本人の美德



大森貝塚の発見で有名な米国人生物学者、エドワード・モースの著作「日本その日その日」(原題 Japan Day by Day) を読みました。3 度にわたる来日で北海道から九州まで訪れ、明治初期の日本人の暮らしを克明に記しています。

清潔な街、明け放された店、丁寧で礼儀正しい態度、無施錠の住まいなど現代の我々も驚くほどの、正直で素直な日本人の素顔が描写されています。

翻って現代の日本はどうでしょう。新聞に凶悪犯罪が掲載されない日はありません。特殊詐欺などはますます巧妙になり、人をだまして隠れている人がいます。

モース来日の頃は、江戸時代の鎖国政策の名残りで、外国の悪習が入ってこなかった。ところが文明開化で外国の風習が徐々に浸透し、加えて太平洋戦争後、津波のように押し寄せた民主主義は、一部の人に勘違いされて個人主義から利己主義にまで変異してしまった弊害もあります。

しかし、がっかりすることはありません。落とした財布が戻ってくる、公共道徳が身につけている、謙讓心や礼節など、まだまだ日本には正直や利他の精神が息づいているのも事実です。

こんな日本人の美点を、末永く受け継いでいきたいと思います。



# 天王洲 消防訓練



ビル事業部  
小川亜弓

8月に解体を控える旧品川営業所。テナントの撤退も完了し、すでに建物は無人状態となっています。この期間を活用し、防犯対策も兼ねて、期間限定で品川消防署に訓練場としてお貸ししていますが、地域の安全を守る消防士の方々の訓練を見学（&体験！）させていただきましたので、その模様を紹介します。

## Day 1 はしご車訓練

着てみた感想は「重い!!!」の一言。防火服に加え、ボンベなど総重量約 12 kg を身に纏って救助活動するのだから、並大抵ではありません。▶



三信倉庫と赤いはしご車、映える～！バケットの先が曲がるタイプのはしご車はレアなのだそうです。▼



▲ドキドキのはしご車体験。宇野部長がたくさん写真を撮ってくれました！（遊園地で子供の写真を撮るお父さんみたいでした…笑）

当日やってきたのは大きなはしご車！カッコいいオレンジの防火服に身を包んだ消防隊員の方々が訓練に参加します。品川消防署にはレスキュー隊はいないとのこと、オレンジの活動服を着るのははしご隊の方たちだけなのだとか。選ばれし者しか腕を通せない制服…と思うと、さらにかっこよく見えてしまいました。

さて、訓練はまずははしご車の固定から。位置を確認してジャッキで車両を動かないように固定していきます。はしごの角度は決まっているので、この位置決めを間違えると、はしごを掛けたいところに届かない！なんてことも。ひと時たりとも油断はできません。

固定が完了すると、はしごの先のバケットにははしご隊の隊員、はしごを操作する運転席には、こちらも特別な資格を持った運転手が座ります。トラックは日本製ですが、はしごは外国製。なので運転席も左側なんですわ～。

準備が完了すると、はしご隊の方の野太い掛け声に合わせてよきよきとはしごが伸びていきます。あっという間に天まで伸びたはしごは全長約 30 m。ちょうど新館と同じくらいの高さですが、港区や中央区のような超高層が並ぶ都心部では 40 m まで伸びるはしご車もあるそうです。

その後もあちこちへ自由自在にはしごを操る姿を惚れ惚れと眺めていると「よかったら乗ってみますか？」とありがたいご提案が！大高・小川の両名で乗せていただくことになりました。ちゃっかり防火服まで着せてもらっていましたが、その様子はさながらキッズニア（笑）やはり経験があつて初めて様になるのだと痛感した一幕でした。肝心のはしご車体験は、安定した操作のおかげか想像よりは怖くありませんでした！が！やっぱりここから放水したり、突入したりなんて考えられない！と消防士のすごさを実感。大満足の 1 日でした。

## Day 2 救助訓練



◀救助訓練の様子は本番さながら。下とのコミュニケーションは投光器についての信号器で行います。



フル装備ではしごを上っていく様子。結構怖そう…！▼



▲30年ぶりにリニューアルした執務服  
左：新型 右：旧型



見学 2 日目は救助訓練です。今回は新館の 2 階をマンションの 2 階に見立て、ベランダ（実際は階段の踊り場）から突入し、建物内に残った意識不明者を救出するという想定で訓練を実施しました。

重さ約 30 kg のチタン製のはしごを掛け、1 人が下からがっしりと支えてから、隊員がはしごを登っていきます。下には中隊長が控え、メガホンで指示を飛ばしていく姿は臨場感が半端ない！

4 人 1 組のチームで火災現場に突入していき、救出作業にあたりますが、背中に背負ったボンベの制限時間は約 20 分。限られた時間の中で人命を助けなければいけません。

最後は救助した人を 1 階まで降ろす必要がありますが、意識不明者は自力では下りられないので、はしごに掛けたロープで慎重に降ろしていきます。これももちろん人力で下に控える隊員がロープを緩めながら、ぐったりしている人形をあっという間に降ろしてしまいました。

一連の訓練を終えた隊員の方を見ると、皆さん汗だくで顔が真っ赤になっていました。この季節は訓練中に熱中症になってしまう人も少なくないそうで、まさしく汗水たらして、命を削って地域住民のために働いてくださっている消防署の方々への感謝を実感した貴重な体験になりました。品川消防署のみなさま、本当にありがとうございました！！そしてこれからも地域の安全のためによりしくお願いします！！

ワタシの  
推し!  
かえってきた  
イタバシのつぶやき

ZIGGY  
(森重樹一)  
歌声に惚れました。



伊藤

ト  
五

が  
ぎ  
の

赤星

サッポロラガービール。  
居酒屋にあれば、いつも注文しちゃう。



丸山

おかおが  
天才♡

神様が  
くった  
跡のよ  
うなヒト

≡LOVE  
佐々木舞香



青木

高橋

リヴェルン

東京ヴェルディの  
新しいマスコット

小野  
田

炭酸水

体に良いから

白取

RX500h  
F-SPORT

理想の安全性と  
快適性



助  
川



佐藤

リラックマ

実は着ぐるみなん  
です (中身は謎)

山口

内田 真礼

同い年の星 ☆

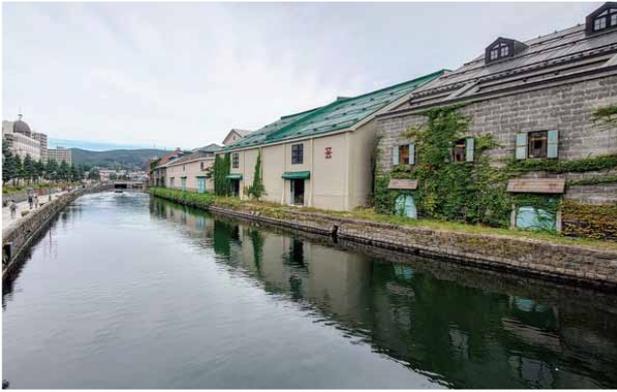


山口  
高橋  
青木



丸

藤



「海運貿易の拠点」



「ショッカー達の基地」

NAOKI MARUYAMA

# PHOTOGRAPH



この度、第一回日倉協フォトコンテストで板橋（営）の丸山さんが、見事2作品入賞しました。おめでとうございます！

受賞に際して丸山さんに作品のこと、写真のことについていろいろインタビューさせていただきました！

**Q 受賞した2作品についてお聞きしたいです。この場所（被写体）を選んだ理由はありますか？**

A 今回の被写体は、2作品ともに北海道の小樽の倉庫群を選びました。他にも倉庫関連を撮影しましたが、どうもじっくりせず、2022年に撮影した作品を選びました。

**Q どんなカメラで撮ったんですか？**

A 実は、一眼レフではなくスマートフォンで撮影した作品です。今のスマートフォンの描写力は素晴らしいものであり、手軽に表現ができ、そして多少の画質調整も許されているので、納得できる作品に仕上げました。

**Q 作品のアピールポイントを教えてください**

A 「海運貿易の拠点」

小樽運河は、明治から大正にかけて海運貿易を支えた重要な水路であります。撮影時は曇り空でしたが、水路の微かな曲線が個人的には萌えます（笑）

「ショッカー達の基地」

正式名称は、北海製罐小樽工場 第3倉庫。仮面ライダーの劇中で、ショッカーのアジトとして撮影された場所です。ショッカー達が仮面ライダーにやられそうな雰囲気の中で、撮影していた時も、この雰囲気ワクワクしました。

**Q 写真が趣味だと伺いました。写真を撮り始めたのはいつ頃からですか？またきっかけは何があったのでしょうか？**

A 父親や叔父が鉄道写真を趣味にしていたので、幼少期からその影響は大きかつ

たです。コンパクトカメラを譲ってもらい、自宅近くで京急を撮ったり、父親と一緒に秩父の方へSLを撮りに行っていました。

本格的に始めたのは高校生の時から。一眼レフを購入して、吹奏楽部に所属しながら、所属してない写真部にも勝手に出入りしていました。

**Q 主にどんなものを撮っているんですか？何か決まった被写体とかがあるのでしょうか？**

A 人物、動物（犬、猫、馬など）、風景、構造物（橋、ビル、城）、料理、など、いろいろな被写体の撮影に挑戦してきました。

**Q いつもどんなカメラで撮っているんですか？カメラのこだわりなどもありますか？**

A はじめは初心者用の一眼レフを使い始めましたが、徐々に高価なものを使うようになり、完全にプロ仕様のカメラとレンズを使うようになりました。ただ、カメラの性能の向上と技術の進化により、一眼レフを使わなくても素晴らしい写真を撮ることができることを知り、手軽に撮れるスマートフォンにシフトしていきました。

**Q 写真を撮る時のこだわりを教えてください**

A 特別こだわりはありませんが、撮りたいと思ったら撮る、記録用に撮ってることも多いです。

今は1人1台スマホを所有する時代です。ひと昔からすれば、1人1台の高級カメラを所有するのと同じです。皆さんもスマホという高級カメラを使って、無限の世界観を表現していただきたいです。きっと今までと違う何かが見つかるはず！



板橋営業所近くの赤羽台にある銀杏並木  
帰宅途中のいつもの風景をスマホで撮影



富士山とドクタンイエロー 静岡県富士川橋梁



天王洲会館のクルージングにて



駅ホームのベンチから スマホで流し撮り

# PIN UP BOARD

## 1 企業間出向契約 営業部 今井一

令和7年4月より株式会社後藤回漕店と「企業間出向契約」を締結しました。昨年末に後藤回漕店より相談があり、「令和7年3月より東京レールゲート3階に入居し東京レールゲート事業所を開設することになりました。そこでの出入庫作業において三信倉庫より現場作業員をお借りし後藤回漕店の業務を手伝ってほしい」と話を受けました。今回、三信倉庫から岡本さん、長澤さんの2名が出向という形で後藤回漕店東京レールゲート事業所にて先方の社員の方と一緒に現場作業を行っていただいています。東京レールゲート事業所の所長様と話をする、「岡本さん、長澤さんには現場作業において大変お世話になっており感謝している。特にコンテナデバン作業が非常に早くびっくりしている」とよくおっしゃっています。早いだけでなく正確性も伴っており、三信倉庫のクオリティーの高さを再認識しました。また後藤回漕店の社員の方とのコミュニケーションにおいても、私が東京レールゲート事業所に行くたびに「雰囲気が非常に良くなっているな」と感じています。この良い関係を長く続けていけるように私もお手伝いが出来たらと思っています。



## 2 東京倉庫協会永年勤続表彰 品川八潮営業所 青木大輔

この度、会社より推薦して頂き、東京倉庫協会の永年勤続表彰を受けることができました。入社してからあっという間に26年……。もうそんなに経つのか〜という思いです。今振り返ると楽しいことや大変だったこと様々なことがあり、思い出深いです。これからも引き続き皆さんと一緒に三信倉庫を盛り上げていく為に頑張っていきたいと思えます！



## 3 R7.3 月期決算 経理部

世界経済は長期化する地政学リスクや米国政府の関税政策など先行きの見通せない状況が続いています。このような中、三信倉庫では天王洲の再開発のため、昨年の10月末で品川営業所を閉所し、今年の8月からは解体工事が始まります。今月は減収減益となり、来期についてもミネラルウォーターの製造終了などで売上が大きく減少となりますが、天王洲が開業するまでの間は出来る限り売上が増加となるよう、倉庫部門での売上目標の達成に期待しております。また決算作業につきましては、各部・各営業所にご協力頂きありがとうございました。

## 4 社員旅行 総務部

今年の社員旅行の行く先が決まりました！場所は栃木県鬼怒川、名所と餃子を楽しもうコースです。特に大谷資料館は圧倒的スケールもさることながら、数々のアーティストや作品の撮影にも使われているということで、皆さんの「推し」アーティスト・作品にも出てくるかもしれませんので、旅行前に復習して当日は各々思いを馳せましょう(笑) また宿泊先の鬼怒川グランドホテルでは温泉、宴会と THE 社員旅行を満喫していただけましたら幸いです。日程は11月29日(土)～30日(日)とまだ先の話ですが皆様の沢山のご参加お待ちしております♪



7月21日は海の日、8月11日は山の日です。このシーズンは海や山へ出かけて自然の懷に飛び込んでみたいですね。ゆったりとした海、四季折々に表情を変える山。それぞれが魅力に富んでいます。しかし侮ってはいけません。天候が崩れると大きな災害に巻き込まれ、ちっぽけな人間は大いなる自然の一部だということを感じ知らされます。この夏どちらにお出かけですか。あなたは海派？それとも山派？